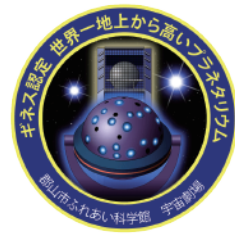


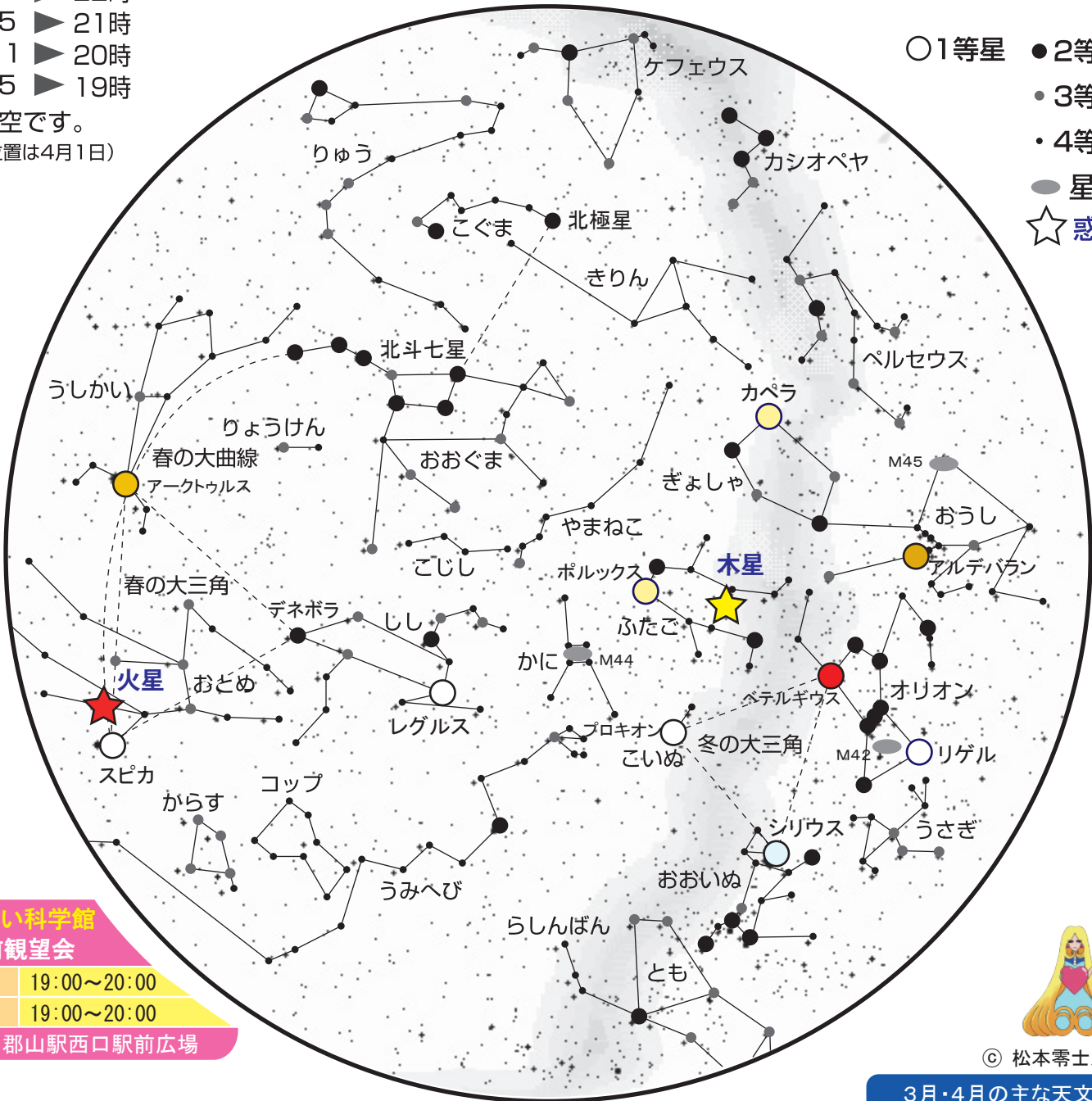
2014年

3月▶4月の星空



この図は
 3/ 1 ▶ 22時
 3/15 ▶ 21時
 4/ 1 ▶ 20時
 4/15 ▶ 19時

頃の星空です。
 (惑星の位置は4月1日)



- 1等星 ●2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星

ふれあい科学館 駅前観望会
 3/15 19:00~20:00
 4/12 19:00~20:00
 場所：郡山駅西口駅前広場



© 松本零士・郡山市

郡山の日の出・日の入	
3/ 1	6:11 17:37
3/15	5:52 17:49
4/ 1	5:28 18:04
4/15	5:08 18:15

月の満ち欠け	
新月	3/ 1, 31, 4/29
上弦	3/ 8, 4/ 7
満月	3/17, 4/15
下弦	3/24, 4/22

※上弦、下弦は半月です。

3月・4月の主な天文現象	
3/21	春分の日
4/14	火星が最接近
4/15	月出帯食
4/22	4月こと座流星群極大

「春分の日」前後のこの時季になると、木星を含んで一層にぎやかだった冬の星たちから火星を含む春の星たちにバトンタッチしていきます。「ひしゃく」の形として知られる「北斗七星」の柄のカーブを伸ばしていくと、うしかい座の「アークトゥルス」とおとめ座の「スピカ」を見つけることができます。このカーブを「春の大曲線」と言います。そして、スピカの近くには赤く輝く火星があります。火星は4月14日に地球に最接近します。火星の最接近は約2年2か月毎に起こり、その度に地球までの距離が変わります。今回は、最接近の中でもそれほど近づかない接近になります。しかし、この頃は肉眼でもより明るく（-1.5等）見えるようになり、望遠鏡を使うと表面の模様もぼんやりと見えるかもしれません。

一方、明け方には水星や金星も明るく見つけやすくなっています（水星は3月14日前後）。この時季は惑星が見やすい時季でもありますので、その輝きにご注目ください。げっしゅつたいしよく
 また、15日の日没前には欠けたまま月が昇ってくる「月出帯食」と呼ばれる現象があります。ハワイ付近では皆既月食として見られるもので、東日本ではその後半を見ることができます。少しずつ寒さが和らぎ、見やすくなっていく春の夜空をお楽しみください。

